

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾観光地域づくり戦略プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	木曾広域連合 地域振興課 (0264-23-1050)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,011,706円(うち支援金:1,110,000円)

事業内容

木曾地域特有の観光資源を取り入れたモデルツアーの開催及び木曾地域のガイド育成事業を実施。

○モデルツアー

- ・茶摘み体験:5月のうち2回開催、16名参加
- ・高原と森林と自然体験のメンタルヘルス:8月31日~9月1日開催、11名参加
- ・木曾路中山道の暮らしで生活習慣改善:9月7日~8日開催、13名参加
- ・ねこづくり体験:9月~11月のうち5回開催、31名参加
- ・氷のスタンドグラスづくり体験:1月のうち3回開催、7名参加

○ガイド育成事業

- ・ガイド研修会①:1月28日実施、23名参加



【ねこづくり体験の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①ツアー実施後に参加者アンケートを行い、課題を把握した。次年度に計画しているモデルツアーにアンケート結果を反映させ、将来の商品化により地域内観光客の滞在時間延長及び観光消費額増加を見込むことが出来る。
- ②既存ガイド団体と連携し新規ガイド希望者の掘り起こし施策を検討し、後継者発掘の弾みとなった。既存ガイドの資質向上に繋がった。

- 【目標・ねらい】
- ①観光客の滞在時間延長及び観光消費額を増加させる仕組みづくりのための滞在型モデルツアー実施
 - ②新規ガイド希望者掘り起こしの施策検討及び既存ガイドの育成

※自己評価 【 B 】

【理由】

参加者からのアンケート回答を分析し、次年度開催予定のモデルツアーへ改善点を反映させた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も継続して木曾地域内における観光客の滞在時間延長及び観光消費額を増加させる仕組みづくりを官民連携しながら検討し実施していく。

新規ガイド希望者の掘り起こし施策を実施し、継続して既存ガイドの育成も実施していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある